

農業労働力支援動画 JA全農兵庫編が完結 淡路島の赤菊生産 大学生とスクラム ～農ジャーナリスト・小谷あゆみさんがリポート～

株式会社日本農業新聞（本社：東京都台東区、代表取締役社長：廣田武敏）は3月26日（火）、全国農業協同組合連合会（本所：東京都千代田区、代表理事理事長：野口栄、以下JA全農）と連携し、農業労働力支援の現場を紹介するシリーズ動画「小谷あゆみが全力リポート 助け合いで広がる笑顔 援・援・農！」の第3弾「淡路島の赤菊 後継者問題に学生と向き合う」を日本農業新聞の公式YouTubeで公開します。

シリーズ動画は、小谷あゆみさんがリポーターを務め、農作業体験や農家らとの交流を通じて労働力支援の魅力や産地の思いを紹介しています。今年度は、JA全農兵庫の取り組みに注目し、今回で完結します。

第3弾の舞台は、兵庫県淡路島の赤菊産地。平均年齢70歳の6人の農家たちが、赤菊「レッドダイヤモンド」を栽培し、市場から高評価を受けています。2020年からは、神戸大学農学部の学生が産地に入り込み、生産者と交流しています。産地が抱える深刻な後継者問題について、生産者と学生の率直な思いを取材しました。

来年度も動画の公開を予定しています。



◆動画制作の背景

高齢化や担い手不足から、生産現場は人手不足に悩んでいます。こうした実態を受け、生産現場を支援しようと、JA全農は全国6ブロックで、「労働力支援協議会」を設置。2022年には、各ブロックを取りまとめる「全国労働力支援協議会」を立ち上げました。今回、全国で広がる労働力支援の取り組みを一層活発にし、一般消費者にも魅力を知ってもらおうと動画を制作しました。

◆動画の概要

シリーズタイトル：「小谷あゆみが全力リポート 助け合いで広がる笑顔 援・援・農！」

公開方法：日本農業新聞公式 YouTube

再生リストURL：<https://www.youtube.com/playlist?list=PLqVQ32o3-Gj-fP9Vx4FGCjwL34kYUyQij>

公開日時：第3弾は3月26日（火）公開 ※来年度も随時公開予定

動画の種類：10分程度の本編、本編を短く編集した短編の計2本

本編：【PR】「小谷あゆみが全力リポート」淡路島の赤菊 後継者問題に学生と向き合う<<JA全農兵庫編>>

URL <https://youtu.be/zcpm8tJfrIM>



QR

短編：【PR】「小谷あゆみが全力リポート」淡路島の赤菊<ショート Ver.>

URL <https://youtu.be/5TujpHk4g4A>



QR

◆この件に関するお問い合わせ先
日本農業新聞 広報局 事業開発部
(担当：藤田・鈴木)
電話：03 (6281) 5811



◆日本農業新聞について

国内唯一の日刊農業専門紙です。販売部数は、農業専門紙として国内最大の約28万部。主力媒体である「日本農業新聞」のほか、1999年1月以降の110万件を超える記事閲覧や切り抜きなどができる「日本農業新聞データベース」や、農畜産物の価格を示す「netアグリ市況」、農産物直売所情報誌「フレ・マルシェ」などを展開しています。